

分担研究報告書

医療従事者の禁煙指導者としての自覚

分担研究者 小栗重統 岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座 助手

保健センターと医療機関をネットワーク化して相互補完的に機能し合う「禁煙教育システム」では医療従事者の果たす役割は大きい。そこで本システムを構築するにあたり、本研究の一環として県内の研究対象地域において平成14年に医療従事者を対象に喫煙対策意識調査を実施した。その結果の一部から医療従事者における喫煙習慣、禁煙指導者の自覚の有無および禁煙指導経験に分けて喫煙対策に対する意識の違いについて検討したので報告する。対象はM医療圏の基幹病院及びK医療圏の病院、診療所の医療従事者（医師、看護職）989人とした。調査票は無記名式で郵送による配布回収、もしくは調査員が直接配布回収した。調査期間は平成14年2月から5月で回収数は899人で回収率は90.9%であった。

解析対象者の899名中、医師は12.9%で平均年齢45.4±15.7歳（平均±標準偏差）であった。看護師は同様に87.1%で36.8±10.3歳であった。喫煙率は医師看護職でそれぞれ33.6%、25.0%であった。同様に「自覚有」はそれぞれ82.6%、3.5%で禁煙指導経験者の割合は57.0%、35.7%であった。禁煙教育システムをより円滑に実施するため医療従事者の禁煙達成とともに禁煙教育法の一層の周知が必要であることが明らかになった。

A. 研究目的

当研究班では保健センターと医療機関をネットワーク化して相互補完的に機能し合う「禁煙教育システム」を宮古医療圏の岩泉町、田老町、新里村の3町村および岩手県立宮古病院にて構築した。そのネットワークにおいて患者への禁煙勧奨の作業で医師・看護師の役割は重要である。

そこで「禁煙教育システム」を医療従事者に対して研修するた

め従来の医師、看護師の喫煙意識、特に禁煙指導者としての意識を把握するため、「喫煙と心の健康に関する意識調査」を導入地区対象地区に対して行った。〈はじめに〉

本研究の一環として県内の研究対象地域において平成14年に医療従事者を対象に喫煙対策意識調査を実施した。その結果の一部から医療従事者における喫煙習慣、禁煙指導者の自覚の有無お

よび禁煙指導経験に分けて喫煙対策に対する意識の違いについて検討したので報告する。

B. 研究方法

対象はM医療圏の基幹病院及びK医療圏の病院、診療所の医療従事者（医師、看護職）989人とした。調査票は無記名式で郵送による配布回収、もしくは調査員が直接配布回収した。調査期間は平成14年2月から5月で回収数は899人で回収率は90.9%であった。

喫煙習慣、禁煙指導者としての自覚の有無、および禁煙指導経験の有無についてそれぞれ禁煙教育（病院で行うことは可能か、日常業務に追加可能か否か、患者が喫煙者なら実施を考えるか否か、内容で重要な要素及び禁煙教育の目標）と病院内で喫煙対策を推進すべきか否かについてクロス集計し χ^2 検定を行った（有意差検定水準は5%）。

なお、質問表で「禁煙指導は誰が行うと最も効果的だと考えますか。」という問に対して、医師が自分の職種である「医師」、同様に看護職なら「看護職」と回答した者を禁煙指導者としての「自覚有」とした。また自分の職種以

外を選択した者を「自覚少」として解析に供した。

C. 研究結果

解析対象者の899名中、医師は12.9%で平均年齢 45.4 ± 15.7 歳（平均±標準偏差）であった。看護師は同様に87.1%で 36.8 ± 10.3 歳であった。

職種別に喫煙率（図1）、禁煙指導者としての自覚の有無（図2）および禁煙指導経験の有無（図3）を示した。喫煙率は医師看護職でそれぞれ33.6%、25.0%であった。同様に「自覚有」はそれぞれ82.6%、3.5%で禁煙指導経験者の割合は57.0%、35.7%であった。

以下は喫煙率、禁煙指導者としての自覚の有無および禁煙指導経験の有無について不明を除く有効回答のデータについて解析に供した。

喫煙習慣別に解析した喫煙対策に関する意識について表1に示した。医師では、「禁煙教育は日常業務に追加可能」、「患者が喫煙者なら禁煙教育を考慮」が非喫煙者で有意に多かった。その一方で「禁煙教育の内容が喫煙の害よりたばこのやめ方や教育後のフォローアップにある」と回答した

者が喫煙者に多かった。

看護職では「医療機関で禁煙教育を実施することは適当である」、「禁煙教育は日常業務に追加可能」、「患者が喫煙者なら禁煙教育を考慮」と回答した者が非喫煙者で有意に多かった。また医師同様「禁煙教育の内容が喫煙の害よりたばこのやめ方や教育後のフォローアップにある」と回答した者が喫煙者に多かった。

「院内の喫煙対策を推進すべきである」と回答した者は医師看護職とも有意に非喫煙者で多かった。

禁煙指導者としての自覚の有・少別解析したに喫煙対策に対する意識について表2に示した。

「医療機関で禁煙教育を実施することは適当である」（自覚有：72.6%自覚少40.0%）および「院内の喫煙対策を進めるべきである」（自覚有群：94.0%自覚少群77.8%）と回答した者の割合は、指導者の自覚有群が有意に高かった。看護師には有意な差が無かった。

禁煙指導経験別に解析した喫煙対策に関する意識について表3に示した。

禁煙教育は日常業務に追加可能」、「患者が喫煙者なら禁煙教育を考慮」が禁煙指導経験有りの者が有意に多かった。また「禁煙教育の内容が喫煙の害よりたばこのやめ方や教育後のフォローアップにある」と回答した者が禁煙指導経験の無い者に多かった。看護職では「医療機関で禁煙教育を実施することは適当である」、「禁煙教育は日常業務に追加可能」、「患者が喫煙者なら禁煙教育を考慮」と回答した者が禁煙指導者で有意に多かった。また、「院内の喫煙対策を推進すべきである」と回答した者は医師看護職とも禁煙指導経験がある者が有意に多かった。

図1 職種別喫煙率

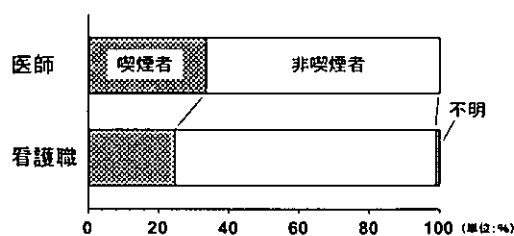


図2 職種別禁煙指導者としての自覚の有少

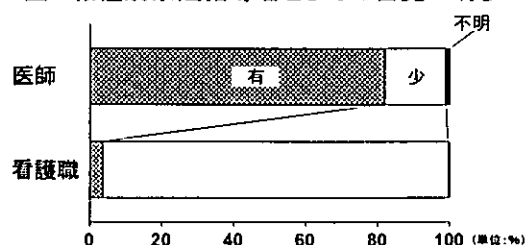


図3 禁煙指導経験の有無

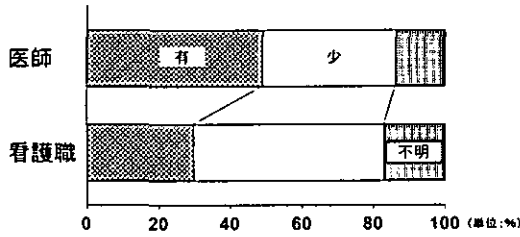


表1 喫煙習慣による喫煙対策に対する意識の比較(%)

	医師		看護職	
	非喫煙者 77人	喫煙者 39人	非喫煙者 581人	喫煙者 194人
病院で行うことは適切	68.8	64.1	54.3	40.9 *
日常業務に追加可能	34.7	2.6 *	27.2	13.5 *
患者が喫煙者なら実施を考慮	58.7	30.6 *	42.7	22.4 *
喫煙の害よりたばこのやめ方や教育後のフォローアップが重要	43.2	83.2 *	46.3	65.2 *
本数減少より吸わなくなることが目標	88.2	82.1	65.2	65.3
院内の喫煙対策を推進すべきである	98.8	71.9 *	91.1	60.4 *

*: p<0.05 (χ²検定)

表2 禁煙指導者の自覚による喫煙対策に対する意識の比較(%)

	医師		看護職	
	自覚有 85人	自覚少 20人	自覚有 27人	自覚少 753人
病院で行うことは適切	72.6	40.0 *	69.2	50.3
日常業務に追加可能	22.8	25.0	22.2	24.0
患者が喫煙者なら実施を考慮	46.9	55.6	53.8	37.5
喫煙の害よりたばこのやめ方や教育後のフォローアップが重要	46.2	49.5	40.7	51.5
本数減少より吸わなくなることが目標	85.1	90.0	59.3	65.4
院内の喫煙対策を推進すべきである	94.0	77.8 *	83.3	85.6

*: p<0.05 (χ²検定)

表3 禁煙指導経験による喫煙対策に対する意識の比較(%)

	医師		看護職	
	有 57人	無 43人	有 232人	無 416人
病院で行うことは適切	66.7	67.4	60.1	45.2 *
日常業務に追加可能	38.2	9.3 *	37.8	13.6 *
患者が喫煙者なら実施を考慮	60.0	39.0 *	47.8	31.7 *
喫煙の害よりたばこのやめ方や教育後のフォローアップが重要	39.3	60.0 *	51.6	49.4
本数減少より吸わなくなることが目標	87.5	83.7	68.9	64.6
院内の喫煙対策を推進すべきである	90.4	86.8	80.8	80.7 *

*: p<0.05 (χ²検定)

D. 考察

医師、看護職とも非喫煙者、禁煙指導経験がある者はそうでない者と比較して禁煙教育に積

極的に取り組む姿勢が認められた。その一方で「禁煙教育の内容が喫煙の害よりたばこのやめ方や教育後のフォローアップにある」についての回答は喫煙者の医療従事者ほど、また禁煙教育を行った経験がない者ほど肯定的に回答した。

禁煙教育システムをより円滑に実施するため医療従事者の禁煙達成とともに禁煙教育法の一層の周知が必要であることが明らかになった。

また、禁煙指導経験有りの者がいない者と比較して「日常業務に（禁煙教育を）追加可能」と回答しているものの、医師・看護師とも6割以上が可能ではないと回答した。患者に対する禁煙教育を日常業務で実施するのは従来の方法では困難であり、あらたな枠組みが必要であることが明らかになった。

E. 結論

禁煙教育紹介システムを構築するにあたり医療従事者に対して禁煙教育者としての意識を問うアンケートを実施した。その結果患者に対する十分な禁煙教

育を行うためには禁煙教育法の周知と日常業務に組み込むための枠組みがひつようであることが明らかになった。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

「医療機関と連携した地域の喫煙対策（第2報）医療従事者の禁煙指導者としての自覚」

岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座 小栗重統、黒澤美枝、西信雄、内科学第三講座 井上洋西、厚生労働省 野原、勝、国立循環器予防センター 岡山明
第62回日本公衆衛生学会総会
2003年10月23日

H. 知的財産権の出願・登録情報

なし

参 考 資 料 1

診療所業務マニュアル

大項目			中項目			小項目			単位業務			実施マニュアル台帳							
code	名称	code	名称	code	名称	code	名称	code	名称	code	名称	code	名称	code	備考				
1	禁煙教育の介入研究	7	介入地域	011	院内業務(D type)	01	喫煙者紹介準備業務	01	外来受付準備	院内担当者	MOKU-禁スタター-実務担当者	外来受付	5m	-	-	使用様式 喫煙習慣調査 連絡票	70110201B 70110204B	70110201A 70110202A 70110204A	
1	禁煙教育の介入研究	7	介入地域	011	院内業務(D type)	02	喫煙者紹介業務	01	予診票記入依頼	院内担当者	外来受付看護師	病院受付	2h	-	-	喫煙習慣調査	70110201B	70110201A	
1	禁煙教育の介入研究	7	介入地域	011	院内業務(D type)	02	喫煙者紹介業務	02	喫煙習慣カルテ記載	病院外来	MOKU-禁スタター-実務担当者	病院受付	5s	-	-	喫煙習慣調査	70110201B	70110202A	
1	禁煙教育の介入研究	7	介入地域	011	院内業務(D type)	02	喫煙者紹介業務	03	禁煙教育対象者選定	病院外来	MOKU-禁スタター-	診察室	30s	-	-	喫煙習慣調査	70110201B	70110202A	
1	禁煙教育の介入研究	7	介入地域	011	院内業務(D type)	02	喫煙者紹介業務	04	禁煙教育の勧め	病院内来	MOKU-禁スタター-	診察室	1m	-	-	連絡票 コーナー案内 禁煙説明/パンフ	70110204B 70110204C 70110204D	70110201A 70110204A	
1	禁煙教育の介入研究	7	介入地域	011	院内業務(D type)	02	喫煙者紹介業務	05	禁煙教育候補者の呼び出し	院内担当者	MOKU-禁スタター-実務担当者	外来内	1m	-	-			70110201A	
1	禁煙教育の介入研究	7	介入地域	011	院内業務(D type)	02	喫煙者紹介業務	06	意思の確認	院内担当者	MOKU-禁スタター-実務担当者	院内担当者	10m	-	-	パソコン端末ドットコンタクト	70110206A	70110201A	
1	禁煙教育の介入研究	7	介入地域	011	院内業務(D type)	02	禁煙教育実施業務	07	初回指導後作業	院内担当者	MOKU-禁スタター-実務担当者	院内担当者	5m	-	-	地元保健センターお問い合わせ	70110206A	70100201A 70100209B	
1	禁煙教育の介入研究	7	介入地域	011	院内業務(D type)	02	禁煙教育実施業務	08	管理台帳記入	院内担当者	MOKU-禁スタター-実務担当者	院内担当者	1m	-	-	禁煙参加者管理台帳	70110208A		
1	禁煙教育の介入研究	7	介入地域	011	院内業務(D type)	03	禁煙教育後作業	01	禁煙達成確認	院内担当者	MOKU-禁スタター-実務担当者	院内担当者	1m	-	-			70110301A	


MOKU-禁 スターター実務担当者は以下のものを準備する。

I 様式用意

1. 様式 70110201B「喫煙習慣調査」をあらかじめ日付をスタンプしたものを準備する。
ここにスタンプする。

70110201B Ver.0.10 喫煙習慣調査

記入日 _____



ご協力をお願いします。

2. 筆記用具付ボードを5個用意する。
3. 様式 70110201A「紹介業務フローチャート」、様式 70110202A「外来カルテ記入マーク一覧」、様式 70110104A「禁煙教育勸奨」および様式 701100204D「禁煙説明パンフ」をファイリングしたビニールファイルを用意する。
4. 様式 7011204B「連絡票」および連絡票用封筒を5部配置する。

II 配置

MOKU-禁 スターター実務担当者はIで用意した様式とビニールファイルを外来医師室に配置する。

MOKU-禁 スターター実務担当は以下のものを配置する。

1. Iの1.の様式 70110201B「喫煙習慣調査」と2.の筆記用具付ボードを外来受付へ配置する。
2. Iの3.のビニールファイルと4.の様式 7011204B「連絡票」および連絡票用封筒を診察室机へ配置する。

受付業務

MOKU-禁スターター実務担当は以下の作業を9時から11時まで行なう。

- 1)受け付けた**患者**に対して様式 70110101B「喫煙習慣調査票」を手渡す。**患者**が多い場合は説明記入用ボード（筆記用具付）を手渡す。

- 2) **患者**に対して「禁煙週間のアンケートにご協力下さい。書き終わったら医師へ出してください」と言う。その際、複数の患者に対して説明しても良い。

□喫煙習慣

1. 確認作業

医師は患者の喫煙習慣を様式 70110101B「喫煙習慣調査票」の設問 2.より確認する。

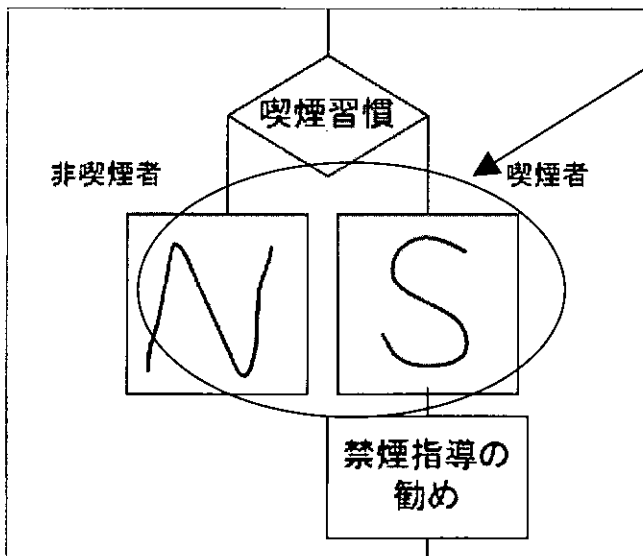
2. あなたは普段タバコを吸いますか。

(はい 一日 本位。 いいえ)

この部分で確認できる。

2. 転記作業

1) 医師は患者の喫煙習慣を様式 70110102A「外来カルテ記入マーク一覧」を参照にして外来カルテの左上の空いているところに、喫煙習慣マークを記入する。



この部分を参照し非喫煙者には「N」、喫煙者には「S」マークする。

I 喫煙習慣の確認

医師は患者が診察室に入る前に病院カルテの左上欄に喫煙習慣マークが記入されている、非喫煙者（N）、喫煙者（S）未記入（予診記入依頼未実施）のマークから患者の喫煙習慣を確認することができる。

II 禁煙教育対象候補者の選定

医師は以下の要領で禁煙教育対象候補者を選定する。

1. 対象者および一日あたりの対象者数

優先的に岩泉町、田老町および新里村の患者（20歳～79歳）の喫煙者で5名/日以上声を掛ける。（禁煙希望者が一人も出現しなくても良い）

2. 選定基準

1の条件を満たした者で以下の3つのいずれかを満たす者に対し禁煙指導を受けることを勧めることができる。

- 1) 患者の病歴から禁煙教育対象者とすべきと判断した場合
- 2) 様式70110101B「喫煙習慣調査」の質問3の回答から、禁煙達成のしやすい者

3. あなたは禁煙についてどう思いますか。

- 関心がない
 - 関心はあるが、この6ヶ月以内に禁煙しようとは思わない。
 - 6ヶ月以内に禁煙しようと思うが、この1ヶ月以内に禁煙しようとは思っていない。
 - この1ヶ月以内に禁煙したい。
- ここを参照することができる。

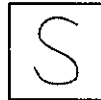
3) 外来を訪れた順に5名の喫煙者

I 禁煙教育勧奨

医師は様式 70110204A「禁煙教育勧奨」を参考に患者に対して禁煙教育を受けることをすすめる。その際、禁煙教育はどんなものか聞かれた場合は様式 701100204D「禁煙説明パンフ」を使用して説明する。

II 禁煙教育希望の確認

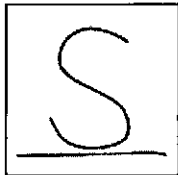
医師カルテ左上段にある喫煙習慣マーク



上に加筆する。

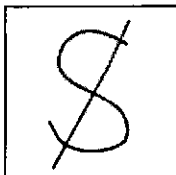
医師の禁煙教育の勧めに対して患者が

- ・禁煙教育を受けたいと答えた場合医師は



と「S」の下に横線を引いく。

- ・禁煙教育を受けないと答えた場合医師は



と「S」に右上から左下へ斜線を引く。

III 禁煙教育紹介状の作成

医師は禁煙教育受講希望者に対して様式 7011204B「連絡票」を作成し複写を剥がさず病院用封筒に入れる。

：受診されました_____様が、
個別健康教育の初回指導を終了しました。禁煙開
年 月 日です。つきましては今後の
お願いいたします。

患者さんのお名前

医師の名前

_____病院 医師 _____

以下は診療所に禁煙指導コーナーを設けた場合のマニュアルです。

I 禁煙教育候補者の確認

1. **MOKU-禁スターター実務担当者**は 11 時分になったら予診記入依頼作業の補助作業を終了、撤収して禁煙教育コーナーで待つ。
2. **MOKU-禁スターター実務担当者**は禁煙教育コーナー内で様式 7011204B「連絡票」を持つ患者を待つ。
3. **MOKU-禁スターター実務担当者**は禁煙希望候補者から様式 7011204B「連絡票」を受け取り室内に導く。

II 禁煙教育候補者へ声掛け

1. **MOKU-禁スターター実務担当者**は以下の通り禁煙教育候補者に声を掛ける。
 - 1) ○○（禁煙教育候補者名）さんですね。私は禁煙教育を受け持っております **MOKU-禁スターター（実務担当者）**の○○です。よろしく願いいたします。
 - 2) 禁煙教育をお受けになるために準備があります。5分程度で済みますのでこちらへどうぞ。
2. **MOKU-禁スターター実務担当者**は禁煙指導コーナーへ禁煙教育候補者をお連れ、席に座って頂く。

I 禁煙教育の意思の確認

禁煙教育の説明

MOKU-禁スターター実務担当者実務担当者は禁煙教育候補者に禁煙教育を受ける意思を様式 70110206A「インフォームドコンセント」を用いて禁煙教育を受けるための確認事項を説明する。

2. 禁煙教育候補者の意思確認

以下のように **MOKU-禁スターター実務担当者**は禁煙教育候補者に説明する。「この書類はあなたが禁煙教育を受けるための意思確認を行うためのものです。納得頂いた上空欄にご署名下さい。」と喋る。

1)禁煙教育を受ける意思がある場合

禁煙教育候補者に対して様式 70110206 B「禁煙希望意思確認」に記入してもらい、対象者控を渡す。また、対象者の居住地に合わせて様式 0100302Bv001「地元保健センターお問い合わせ先」にチェックして手渡す。

2) 禁煙教育を受ける意思がない場合

- i) 以下のように **MOKU-禁スターター実務担当者**は禁煙教育候補者に説明する。「今回申し込みは見合わせることにさせていただきます。禁煙教育を受ける機会はこれからもあると思います。また気が向けば、お気軽にお声を掛けてください。」
- ii) **MOKU-禁スターター実務担当者**は実施マニュアル 70110208「意思確認終了作業」へ進む。

I 禁煙教育初回指導後フォローについての説明

MOKU-禁スターター実務担当者は禁煙教育対象者に対し、「これから、色々なパンフレットやアンケートが地元の保健センターから届くと思いますのでよろしくお願ひします。」と言う。さらに、MOKU-禁スターター実務担当者は様式701100206A「地元保健センターお問い合わせ先」を対象者の問い合わせ先に○を付けて手渡す。

II 初回指導後作業

1. 市町村保健（福祉）センター宛封書作り

1) MOKU-禁スターター実務担当者は健康教育対象者の居住地を参考に宮古病院 A4 封筒に保健（福祉）センターの宛名を記入する。

2) MOKU-禁スターター実務担当者は以下のものを用意する。

- ・複写様式 7010204B「連絡票」を完成させた、保健（福祉）センター控。

<p>(←) 保健（福祉）センター</p> <p>「やって MINT、や 禁煙教育希望者ご紹介</p> <p>当病院を受診されました</p> <p>禁煙教育の個別健康教育の初回指導</p> <p>定日は 年 月 日です</p> <p>をよろしくお願ひいたします。</p>	<p>対象者居住市町村名の記入。宮古 市、 田老町、岩泉町、新里村以外の場合は未記入。</p> <p>禁煙開始予定日</p>
---	--

※備考欄に禁煙の個別健康教育の「お便りその 1」を渡したかどうかを記入する。

- ・指導ファイルを含めた一式。

- ・70100206B 「禁煙希望意思確認」の保健（福祉）センター控

3) MOKU-禁スターター実務担当者は2) を 1) で用意した封筒に入れ、担当事務に発送を依頼する。

4) MOKU-禁スターター実務担当者は複写様式7010204B「連絡票」病院控をファイリングする。

5) MOKU-禁スターター実務担当者は複写様式70100206B 「禁煙希望意思確認」病院控をファイリングする。

I 禁煙参加管理台帳への記入

MOKU-禁スターター実務担当者は禁煙教育対象者のID、性別、氏名及び禁煙指導状況について様式70110208A「禁煙参加者管理台帳」に記入する。

NO.	対象ID・名前	性別	ID番号 (希望者順)
1	01 <input type="text"/> <input type="text"/> 男・女		
		殿	
	01 <input type="text"/> <input type="text"/> 男・女		

禁煙教育の状況を書き入れる。

	(初回) 指導日	連絡票の発行	禁煙宣言日	禁煙達成確認日	おたよりその1
殿					

II 台帳の返送

MOKU-禁スターター実務担当者は

対象者10名書き入れた場合

禁煙教育終了後

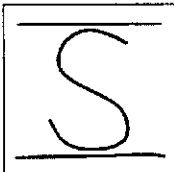
サポートセンターに様式70110208A「禁煙参加者管理台帳」を郵送する。

I 禁煙達成確認

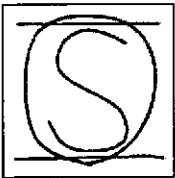
MOKU-禁スターター実務担当者実務担当者は紹介した禁煙教育対象者が禁煙を達成したか否かをする。対象者が禁煙達成の可否について様式70100304A「禁煙達成状況のお知らせ」が届くのでMOKU-禁スターター実務担当者はその内容で確認する。

II 禁煙達成カルテ記載

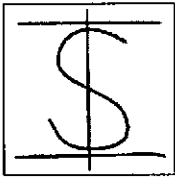
MOKU-禁スターター実務担当者は禁煙達成の結果を様式70110202A「外来カルテ記入マーカー一覧」よりカルテ左上に消しゴム消去可能なボールペンにて記載する。

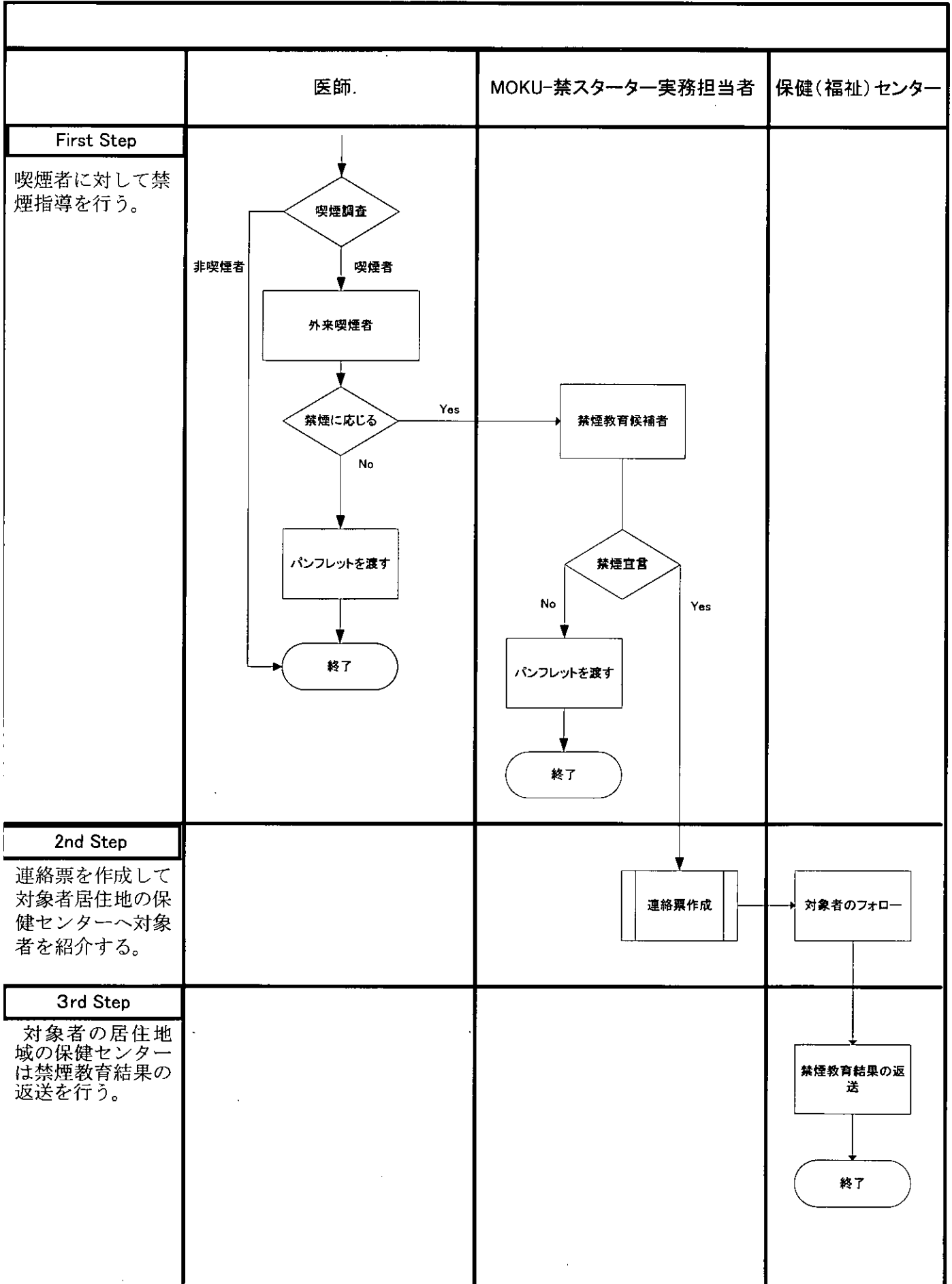
カルテ左上には  とある。

そこで、禁煙達成者には

 と、○を記入する。

禁煙非達成者には

 と、縦に線を入れる。



記入日 _____

たばこアンケートにご協力をお願いします。

院長 _____

お名前 _____ 性別（男・女）年齢 _____ 歳

次の□に数字か☑を入れて下さい。

- 1.お住まい： 宮古市 田老町 岩泉町 新里村
 山田町 田野畑村 川井村 他

2. あなたは普段タバコを吸いますか。

(はい 一日 本位。 いいえ)

以下の質問はタバコを吸う方にお尋ねします。

3. 何歳頃から吸い始めましたか。

_____ 歳頃

4. 禁煙を試みたことはありますか。

なし / あり _____ 回

5. あなたは禁煙についてどう思いますか。

- 関心がない。
- 関心はあるが、この6ヶ月以内に禁煙しようとは思わない。
- 6ヶ月以内に禁煙しようと思うが、この1ヶ月以内に禁煙しようとは...
考えていない。
- この1ヶ月以内に禁煙したい。

ご協力ありがとうございました。

